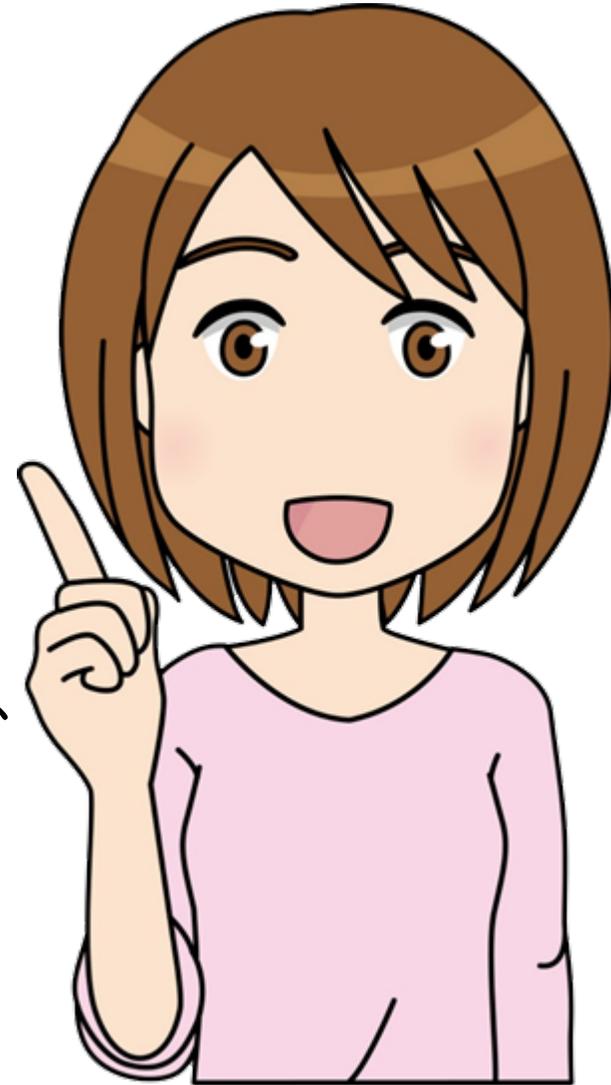


HTMLとCSSを書いてくれる  
生成AIについて

# HTMLとCSSを生成AIに任せる？

HTMLとCSSを書いてくれる生成AIは、WebサイトのUI要素やコンポーネントをテキストの指示から自動生成するツールです。プログラミングの知識が少ない人でもWebサイトの作成が容易になるため、近年注目を集めています。

以下に、HTMLとCSSを生成してくれる代表的なAIツールと、その特徴、使用例、注意点などを詳しく解説します。



# 主なAIツール:

## AI CODE「エーアイ コード」(基本的に無料):

テキストでUI要素(例:「シンプルでモダンなナビゲーション 日本語」)を指定すると、対応するHTMLとCSSを生成します。ナビゲーション、ボタン、カード、フォームなど、様々なUI要素に対応しています。

## Cursor「カーソル」(基本的には無料) / UI Sketcher: 「ユーアイ スケッチャー」(OpenAI APIキー:の料金※無料枠もあり)

手書きのスケッチやドラッグ&ドロップ操作からWebサイトの画面、コンポーネント、レイアウトを作成し、HTMLとCSSに変換します。OpenAIのAPIキーが必要です。

## FRONT-END.AI「フロントエンド ドット エーアイ」(有料):

デザインカンパ(Figmaなど)からWeb画面(HTMLと一部のCSS)を自動生成するクラウドサービスです。VS Codeエディタとの連携も可能です。

## UI to Code「ユーアイ トゥー コード」(現時点で無料):

プロンプトに応じてHTML、CSS(Tailwind CSS)、JavaScriptコードを生成します。生成されたコードはチャット内で展開されるため、コピーしてファイルに貼り付ける必要があります。

### これらのツールの特徴

テキストやスケッチからコード生成: プログラミングの知識がなくても、テキストで指示したり、簡単なスケッチを描いたりするだけでHTMLとCSSを生成できます。  
UI要素の自動生成: ナビゲーション、ボタン、フォームなど、よく使われるUI要素を簡単に生成できます。  
デザインカンパからの変換: Figmaなどのデザインツールで作成したデザインカンパをHTMLとCSSに変換できます。  
コーディングの効率化: 手作業でのコーディング量を減らし、開発時間を短縮できます。

## 使用例:

「ヘッダーにロゴとナビゲーションメニューを配置したシンプルなWebサイト」とAIツールに指示すると、必要なHTMLとCSSが生成されます。手書きでWebサイトのレイアウトを描き、UI Sketcherなどのツールに取り込むと、対応するHTMLとCSSが生成されます。Figmaで作成したWebサイトのデザインキャンパスをFRONT-END.AIなどのツールにアップロードすると、HTMLとCSSが生成されます。

※コーダーとしてアピールする場合は、当然自分で書けることを求められますのでご注意ください。

## 使用上の注意点:

### 生成されるコードの品質:

生成されるコードは完璧ではない場合があります、必要に応じて修正や最適化が必要です。特に複雑なレイアウトや動的なWebサイトの場合、手動での調整が必要になることが多いです。

### デザインの自由度:

AIツールによっては、生成できるデザインの自由度が限られる場合があります。細かいデザインの調整は手作業で行う必要があります。

### 著作権:

AIツールが使用するデータや生成するコードの著作権には注意が必要です。利用規約をよく確認しましょう。

### セキュリティ:

生成されたコードにセキュリティ上の問題がないか確認することが重要です。

# まとめ

## 今後の展望を楽しみにしていきましょう！

AI技術の進歩により、HTMLとCSSを生成するAIツールの精度はますます向上していくと予想されます。

将来的には、より複雑なWebサイトや動的なWebアプリケーションも自動生成できるようになるかもしれません。

これらのツールは、Web開発の初心者だけでなく、経験豊富な開発者にとっても、作業効率を向上させるための強力な武器となります。

目的に合わせて適切なツールを選び、AIを活用したWebサイト開発を試してみてはいかがでしょうか。

